

商店街に若者を呼び込む音楽スタジオ

景観デザイン研究室

1170094 谷野 正和

1. 背景と目的

近年、ドーナツ化現象による中心市街地の衰退や、公共サービスの広域化が起きている。この問題に対して、コンパクトな街づくりを進めることにより、解決することが求められている。そのためには、徒歩圏内の商業施設、つまり商店街の活性化が不可欠である。

この問題は徳島市内でも見られ、商店街に魅力的な店舗は少なく、シャッター街となっている。照明がついていないため、昼間でも薄暗い印象を受ける。

また、徳島にはライブハウスやイベント会場は市内に集中しているが、練習できる音楽スタジオは少なく、市街地から離れているという問題もある。また、防音のために壁も分厚く中の様子を外から把握できないため、閉鎖的な印象を受ける。

そこで、外から魅力が見える音楽スタジオを提案し、商店街及び音楽スタジオの薄暗い印象を払拭させることをこの設計の目的とする。そしてこの店舗に人を集めることにより、商店街に賑わいをもたらす。

2. 敷地と選定理由

選定敷地は、かつて徳島市で栄えていた東新町商店街の二丁目である。徳島駅から南西に位置し、徒歩約10分ほどである。現在では映画館や、ダイエーなども撤退し、雨よけできる歩行者・自転車道としての利用がほとんどである。



図1 敷地図



図2 商店街の現状写真1



図3 商店街の現状写真2



図4
ライブハウスの入り口1



図5
ライブハウスの入り口2



図6 ライブハウスから光が漏れているイメージ



図1 スタジオ及びカフェのイメージ図

3. コンセプト

3-1 外から魅力が見える

従来のライブハウス及びスタジオは、防音性能を上げるため分厚い壁で囲まれていた。そのため、昼でも日光は届かず、薄暗い近寄りたくない雰囲気を醸し出している。今回防音ガラスを使用することにより、スタジオの中や、観客席も見ることができ、中の様子商店街から伺うことができる。また、普段ライブハウスでは見られない側面や背面の様子を見ることができ、新しい楽しみ方ができる。

また客席も外から見渡せるので、人で賑わっている様子が外から見ることができ、スタジオや客席から光が漏れ、商店街を明るく照らす。



図7 2階中央からの視線①



図8 受付側2階からの視線②

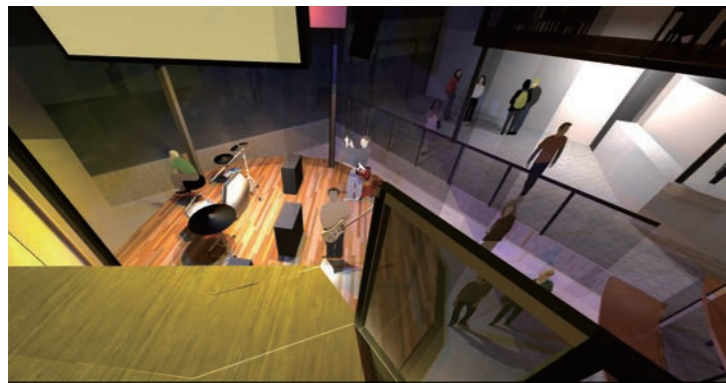


図9 スタジオ側2階からの視線③



図10 1階中央からの視線④

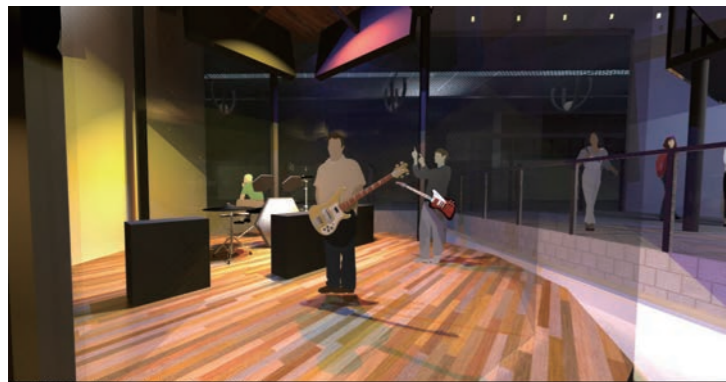


図11 半地下からの視線⑤



図12 受付からの視線⑥

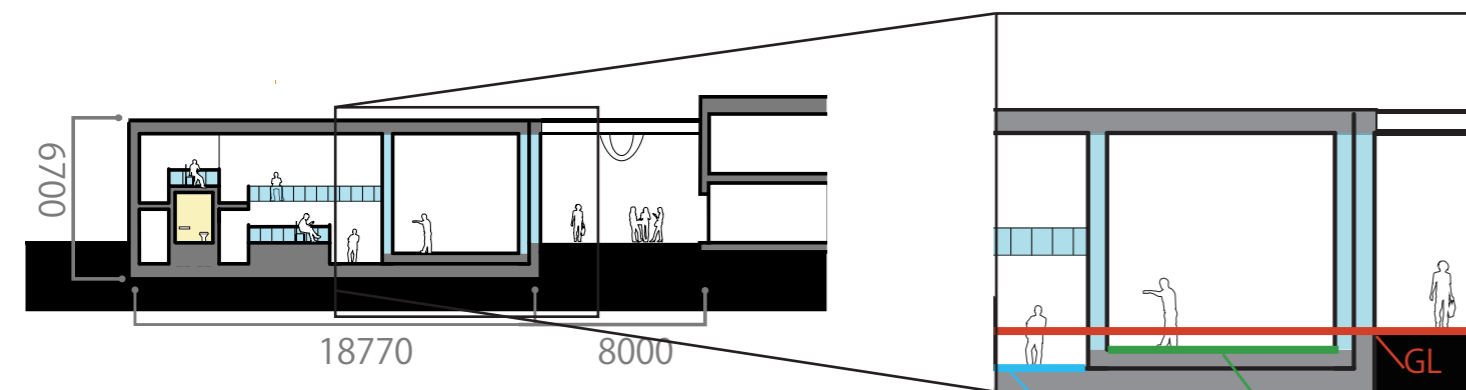


図13 X-X' 断面図

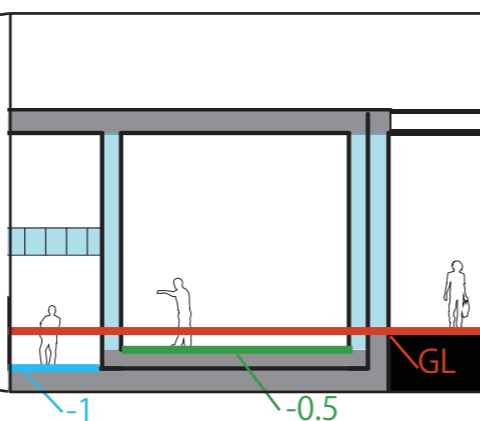


図14 X-X' 断面図 拡大図

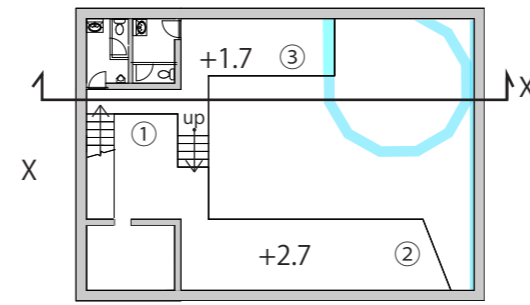


図15 2階平面図



図17 ステージからの視線

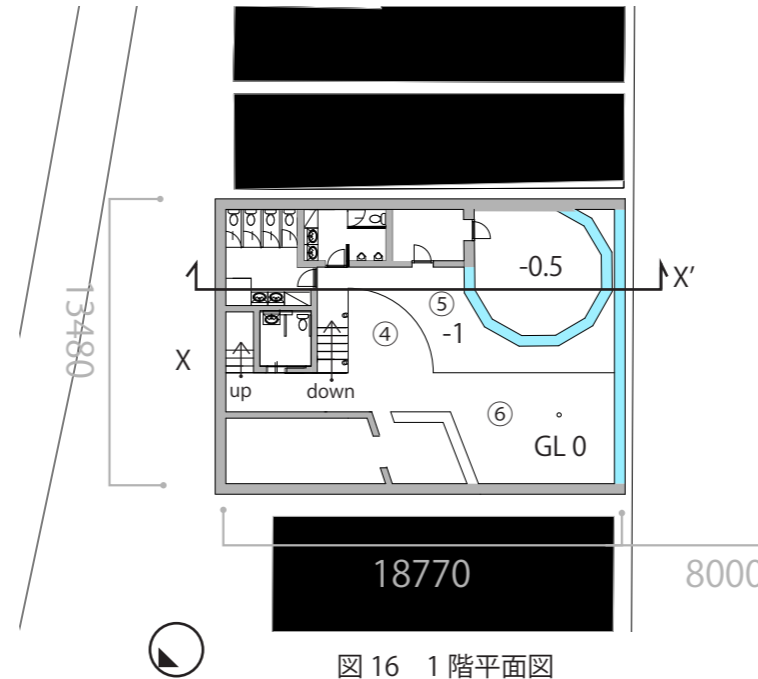


図16 1階平面図

3-2 視覚の操作

敷地のスタジオ側の半分を1m下げ、スタジオのステージを0.5m下げている。2階席も同様に段差をつけることによって、5種類の客席を作った。どの客席もステージを遮らず、心地よく演奏を聴くことができる。客席ごとに見える景色も変わり、それぞれの客席から違ったステージを見ることができる。ステージからも全ての客席を見ることができ、普段の練習や、ライブとは一味違った雰囲気を楽しむことができる。

4. 遮音方法

スタジオのステージの形に沿って防音ガラスを取り付け、スタジオから客席への音漏れを防ぐ。客席からは別のスピーカーから聴きやすく調節された音を流す。さらにカフェの正面にも防音ガラスを取り付ける。スタジオからの音は2段階の防音ガラスにより商店街へ漏れるのを遮り、正面の防音ガラスによって、カフェから漏れる音も遮る。

しかし防音ガラスは低音になる程、防音性能が下がってしまうことがわかった。そこで、ドラムを電子ドラムにし、全ての楽器の音量を調節可能にすることで、商店街への音漏れを防ぐ。さらに、楽器の音量をそれぞれ調節可能にすることで、客席ではそれぞれの楽器の音量バランスも調整された、より聴きやすい演奏を楽しむことができる。

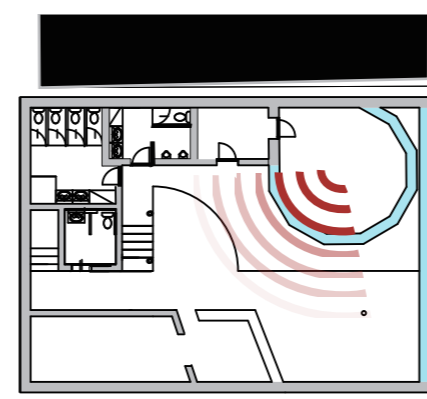


図18 スタジオの防音ガラス

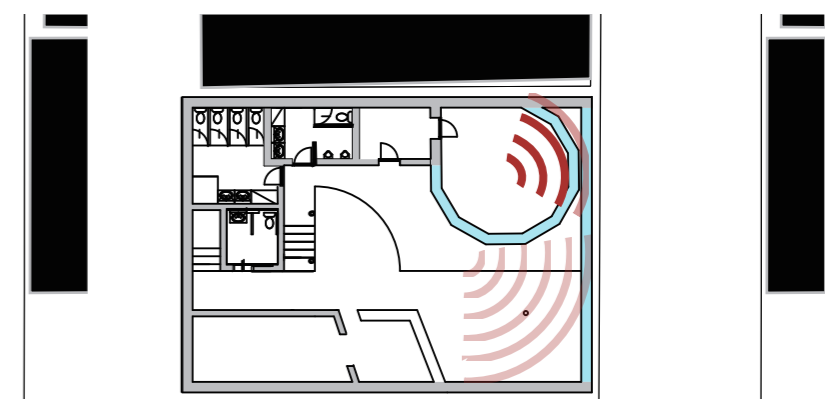


図19 カフェの防音ガラス